



宮崎医療生活協同組合

このはな支部だより

第273号

2020年6月6日

連絡先 58-1222



このはな支部・運営委員会・発行



警戒は おこたらず 少しずつ 慎重に 活動を再開していきます

今年は冬から春、そして夏へと4ヶ月以上もじっくり季節の変化を感じる事ができないまま、梅雨入りしました。組合員のみなさまには、身心ともに大変な日々を、数ヶ月にわたりお過ごしのことと思います。
緊急事態解除とともに学校がはじまり、施設や店舗の再開とともに人出も増えています。あらためて、手洗い・うがい・マスク・換気・お互いの距離感・遠出ししないなど心がけたいですね。

6月 支部では 運営委員会再開 と おげんきですか配布 からスタートします

このはな支部では、3月5日と運営委員会を中止（4月は実施しました）。この間、コープ本郷店と学園木花台公民館での健康チェックも中止。班会もすべて中止しました。

4月25日の支部総会は書面議決で終了、5月27日の南ブロック総会も中止して、6月24日の総代会へ向けての質問疑問を総代より上げていただいています。総代会については、226名に書面議決を依頼、当日は17支部長出席の上で確認を行います。

6月24日の学園木花台健康チェックは中止します。

お詫び 今春4月2日に予定していましたバスハイクを中止しましたが、状況が良くなりましたら、また計画していきます。



このはなコラム 第1回



今月から支部を支える運営委員と理事から、今に思う.. 一文を掲載します。ご期待ください。 第1回目は長年理事をつとめる山崎さんです。

コロナ危機に思う 山崎一男

政府の全世代型社会保障検討会議（議長 安倍首相）は、経済成長戦略の観点から、健康づくりビジネスと予防を重視する方針を示して、人口減少が進む中高齢者を安上がりの働き手として活用するために、健康であることが不可欠として、予防と健康づくりへの自助努力を求めてきました。



同時に、都道府県の保健所統廃合を進め、少ない人員で広い地域を担当させ、住民密着の業務が困難になっています。

ここに新型コロナウイルスが直撃し、保健所の業務負担を過酷にして、疲弊感はずさまじい状況になっています。コロナ危機により、医療と社会福祉を削減して、国民に競争と格差を押しつけてきた新自由主義的政策が問われてきています。



今後失業者の増加や経営悪化にともない、経済的にきびしい状況に置かれる人々の増加が想定されます。今必要なことは、医療や社会保障を充実させ、国民の将来不安を取りのぞいて、消費を活性化させ生産誘発効果や雇用誘発効果の政策で日本経済を支えることが求められていると思います。